

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和 6年 2月12日

事業所名:プリメーラ放課後等デイサービス野々上

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分な広さはあるが、運動療育時、内容によっては少し狭いと感じることがある。怪我などに繋がらないよう努めている。	①はい 88% ②どちらともいえない 12% ③いいえ 0% ④わからない 0%	安全に療育や生活ができるよう、療育室の棲み分けを図っています。室内のサイズに関しては、児童の成長とともに検討していくべきだと考えております。
	2 職員の適切な配置	人員基準を順守し、配置している。	①はい 88% ②どちらともいえない 4% ③いいえ 0% ④わからない 8%	状況に応じた体制を構築し、安全な運営を心掛けます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バリアフリーを施し、状況に応じた動線をつくっている。どの児童も安心して過ごせるよう、個人に合わせた情報伝達等を意識して行っている。	①はい 96% ②どちらともいえない 0% ③いいえ 4% ④わからない 0%	現状を維持しながら、さらに個々の特性やわかりやすい内容提示や情報伝達等に努め、支援の質を高めてまいります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	次亜塩素酸水噴霧器の設置による除菌、清掃・消毒を毎日実施し、清潔な環境を維持している。生活空間の確保は、スペースの点で検討するべきである。	①はい 96% ②どちらともいえない 0% ③いいえ 4% ④わからない 0%	感染症対策に関しては、更なる配慮を行いながら安心して過ごせることを目指します。生活空間の確保に関しては、児童の成長とともに検討していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	児童の特性を共有するため、ケース会議や療育会議を適宜行っている。業務内容の明確化を意識し、改善点を周知することで事業所全体で取り組んでいる。		スタッフの異動が生じた場合も、会議の経緯情報の蓄積や児童情報の引継ぎを丁寧に行い、引き続き事業所全体で取り組んでいきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	未実施		今後、検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部講師による事業所内での研修や、外部研修への参加、職員の勤務年数に応じた実践トレーニング等を行っています。		更なる資質向上に努めます。
1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者とは個別面談や意見交換を繰り返し、児童の様子からもニーズを聞き取り、個別支援計画に反映している。	①はい 100% ②どちらともいえない 0% ③いいえ 0% ④わからない 0%	保護者・児童にさらに寄り添い、こまめな意見交換を繰り返していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個々の特性に応じた個別・集団療育を計画し、プログラム作りを検討・実施している。	①はい 100% ②どちらともいえない 0% ③いいえ 0% ④わからない 0%	保護者・児童にさらに寄り添い、満足度が上がるように取り組んでいきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	児童の発達領域を示し、個々にモニタリング記録を残し、その上で必要な支援のあり方を支援計画に具体的に記載している。	①はい 100% ②どちらともいえない 0% ③いいえ 0% ④わからない 0%	更なる資質向上に努めます。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に対し、職員間で環境構成や助言など具体的な方法を検討し、日々の支援を実施している。	①はい 100% ②どちらともいえない 0% ③いいえ 0% ④わからない 0%	適切な支援かどうか、適宜振り返りを行い見直しを進めていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	専門職員を含む職員全員でその都度支援内容の企画・検討を行い、日々の活動プログラムを策定している。		主観的かつ自己満足的な支援に陥らないよう、また、マンネリ化しないよう留意し、新しい経験を提供できるよう努めます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日と休日は異なる日課を設定し、マンネリ化やストレス等に留意している。また、長期休暇中ではメリハリのある生活を過ごせるように配慮している。		更なる資質向上に努めます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	療育の主軸はサッカーだが、身体を使った様々なメニューを考案し、児童の興味・関心・意欲を引き出すことに努めている。	①はい 88% ②どちらともいえない 4% ③いいえ 0% ④わからない 8%	現状を維持し、魅力ある療育内容の構築に努めます。また、保護者に対して日々の活動プログラムの開示に努め、開かれた事業所運営を目指していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に職員全員でブリーフィングを行い、必要事項を確認している。ブリーフィングで伝えきれない情報は情報伝達ツールを用い、個人情報に配慮しながら共有を図っている。		現状を維持していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その都度振り返るようにしている。当日に実施できない場合は、情報伝達ツールを用いたり、翌日のブリーフィング時に職員全体で共有している。		現状を維持していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録の確認と情報の共有を複数人で行い、正確さの確立を目指している。また記録が誰にでも分かるようにし、支援の検証が出来るよう工夫している。		現状を維持していきます。
	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	利用開始から1か月以内に当初計画を作成し、適宜個々にモニタリングを行い、6ヶ月ごとに個別支援計画の見直しを行っている。		現状を維持し、ガイドラインに沿った運営に努めます。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	要請があれば必ず参加し、児童の様子等々を伝えその都度助言を仰いでいる。		現状を維持していきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	対象者なし		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	対象者なし		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者を通して情報収集を行っている。必要に応じて、学校などへ直接訪問し、連携相談を行っている。		現状を維持していきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	現在のところ、該当者なし。		現状を維持していきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関からの助言を求める機会として連携をとり、研修にも複数の職員を参加させている。		現状を維持していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地域の子ども食堂に参加し、レクプログラムを実施したり、高齢者大学校の方々との畑の野菜収穫や昔遊びなどの交流している。共生の場として捉え、前向きに参画している。	①はい 24% ②どちらともいえない 8% ③いいえ 4% ④わからない 60%	SNSや通信などで情報開示はしていますが、分かりやすく伝わるよう、発信の仕方に工夫しながら周知していただけるよう努めていきます。
	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	「親セミナー」開催時には、町内会を通じて地域の方々にも参加を募った。		引き続き、自治会役員の方々との交流や意見交換を進めていき、開かれた事業の運営や地域貢献に努めていきます。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用契約の段階で支援内容、利用者負担を説明し、保護者からの問合せにもその都度対応している。	①はい 100% ②どちらともいえない 0% ③いいえ 0% ④わからない 0%	更に丁寧に分かりやすく説明するように努力します。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	見学时、療育を体験して頂き、解説を加えながらサービス内容を説明している。	①はい 100% ②どちらともいえない 0% ③いいえ 0% ④わからない 0%	今後もガイドラインに沿った運営に努めます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	学期に1回開催している保護者会と併せて、「親セミナー」を実施した。情報交換・学びの場として開催している。	①はい 92% ②どちらともいえない 0% ③いいえ 0% ④わからない 8%	保護者ニーズを踏まえ、更に参加しやすい形態や日程を工夫していきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時の口頭でのやりとり、日々の連絡帳、メールにおいて、日常の情報を共有すると共に発達特性の共通理解を深めている。	①はい 100% ②どちらともいえない 0% ③いいえ 0% ④わからない 0%	現状を維持し、主観的かつ自己満足的な伝達に陥らないように留意していきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	要望があれば相談の時間を作り、悩みごとを共有し、助言を行っている。こちらから相談に誘う場合もある。	①はい 100% ②どちらともいえない 0% ③いいえ 0% ④わからない 0%	常に受容・共感的意識で臨み、より適切な助言ができるよう研鑽に努めます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	学期に1回、保護者会を実施。保護者同士の繋がりが出来つつある。就労されている方の参加率が低いため、更なる工夫が必要だと感じている。	①はい 92% ②どちらともいえない 4% ③いいえ 24% ④わからない 4%	保護者ニーズを踏まえ、更に参加しやすい形態や日程を工夫していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情担当者を明示し、迅速な対応を心掛けている。当日の解決が難しい場合は、その理由を保護者に説明している。	①はい 84% ②どちらともいえない 4% ③いいえ 0% ④わからない 12%	迅速かつ丁寧な対応に努め、処理後にはスタッフ全体で経緯分析・共有をしていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	意思疎通が難しい児童や保護者の該当は無いが、必要に応じてサインボードやSNSのツールを活用する。	①はい 100% ②どちらともいえない 0% ③いいえ 0% ④わからない 0%	現状を維持し、常に意識するよう努めます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	都度印刷物やメール配信をしている。	①はい 100% ②どちらともいえない 0% ③いいえ 0% ④わからない 0%	現状を維持し、更に保護者に周知を図っていきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報が書かれているものは鍵付きロッカーで保管している。	①はい 96% ②どちらともいえない 4% ③いいえ 0% ④わからない 0%	現状を維持し、スタッフ間でもその重要性を常に意識するよう努めます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアル策定し、職員と保護者の周知徹底を行っている。	①はい 92% ②どちらともいえない 4% ③いいえ 0% ④わからない 4%	更なる周知徹底を行っていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的な避難、救出その他必要な訓練の実施	年間2回の訓練を行っている。	①はい 52% ②どちらともいえない 12% ③いいえ 0% ④わからない 36%	現状を維持し、保護者には会報やHPIにて訓練実施を伝えていきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	その都度、事業所内外での研修に参加・実施し、虐待防止の意識向上を図っている。		現状を維持していきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在の所は行動障害の該当者がいない為が、必要な場面を想定して丁寧な説明を心がけたい。		現状を維持していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者より事前にアレルギーの有無を確認し、配慮を行っている。		今後も同様に配慮していきます。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットや事故が起こった場合は、その日にスタッフ間で話し合い、再発防止に向け、周知徹底している。		現状を維持していきます。